施策評価（令和7年度）

戦略3 観光・交流戦略			
目指す姿4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	スポーツ振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和7年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

スポーツ参画を促進する“Sport in Life”の考え方を踏まえスポーツを行うことが生活習慣の一部となることにより、スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされ、全ての県民が幸福で豊かな生活を営む元気な秋田の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①、③、④】 成人の週1回以上のスポーツ実施率(%) 出典:秋田県スポーツ推進委員協議会「全県体カテスト・スポーツ実態調査」	目標			67.0	68.0	69.0	70.0	71.4%	1	
		実績	50.5	58.5	51.1	47.5	49.3				
		達成率			76.3%	69.9%	71.4%				
②	【施策の方向性③、④】 国スポにおける少年種別の獲得得点(点) 出典:(公財)秋田県スポーツ協会調べ	目標			140.0	160.0	180.0	200.0	73.6%	1	
		実績	81.5	—	214.5	146.0	132.5				
		達成率			153.2%	91.3%	73.6%				
③	【施策の方向性②】 スポーツ合宿等による延べ宿泊者数(人泊) 出典:県調べ	目標			900	1,200	1,400	1,500	124.2%	4	
		実績	—	—	1,430	1,686	1,739				
		達成率			158.9%	140.5%	124.2%				

※ 指標の判定基準

4点: 達成率 $\geq$ 100% 3点: 100% $>$ 達成率 $\geq$ 90% 2点: 90% $>$ 達成率 $\geq$ 80%
1点: 80% $>$ 達成率 $\geq$ 70% 0点: 70% $>$ 達成率 n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
2.00 (e相当)	4点 × 1個 = 4点 1点 × 2個 = 2点
	3点 × 0個 = 0点 0点 × 0個 = 0点
	2点 × 0個 = 0点
	合計 6点 ÷ 3個(判明済み指標) = 2.00

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

a相当: 平均点が3.6点以上 b相当: 平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当: 平均点が2.8点以上3.2点未満
d相当: 平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当: 平均点が2.4点未満

2-3 主な取組状況とその成果

【施策の方向性① ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進】

- 幅広い世代がいつでも自分の好きなスポーツを行うことができる地域住民のための総合型地域スポーツクラブ（全県66クラブ）の自主的な運営を支援するため、広域スポーツセンターの各地区担当とクラブアドバイザーが39クラブを訪問（計47回）し、実施種目や指導者確保等に関する助言をしたほか、他クラブや行政との連携方法について協議した。
- 指導者派遣による健康教室等の開催により、多くの県民にスポーツ活動実践の場を提供した（48回）。

【施策の方向性② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大】

- スポーツ大会等開催支援事業により、「2024 北緯40° 秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」のほか観光融合型イベント4件、トップアスリート大会3件の開催支援補助を行った。
- 県内のトップスポーツチームと連携し、ユニフォームや試合会場等に本県キャッチコピー等を掲出したほか、スポーツ教室の開催等による地域貢献活動やアウェイ戦での本県PRを実施した（3件）。

【施策の方向性③ 全国・世界で活躍できるアスリートの発掘と育成・強化】

- 将来有望なアスリートの発掘・育成のためのタレント発掘事業により、9名の合格者を決定した。また、選手の育成・強化のため、競技団体が実施する選手強化対策を支援した（延べ41競技団体48種目）。
- ジュニア期からの一貫指導体制を構築するため、県・教育庁・（公財）秋田県スポーツ協会と競技団体が連携し、「チームAKITA強化育成システム」において、10競技団体を指定して競技力向上を図った。これらの結果、令和6年度は、佐賀国スポ少年種別において、レスリングで優勝したほか、ローイング、陸上競技等で入賞した。冬季国スポにおいては、スキーでは全種目の男女で入賞したほか、スケートでも入賞を果たした。
- （公財）秋田県スポーツ協会内に無料職業紹介窓口を開設し、県内に就職し競技を続けたいアスリートと企業等とのマッチングサポートを実施し、3名のアスリートが県内企業に採用された。

【施策の方向性④ スポーツ活動を支える人材の育成と環境の整備】

- 指導者育成のための研修会を県北・中央地区で3回、県南地区で2回開催（計8回）したほか、スポーツ科学センターが認定した元気アップ運動認定指導者のスキル向上を目的とする研修会を23回実施した。
- 県有体育施設の運営や各種競技大会等を円滑に開催するため、県が所管している13施設のうち8施設において必要な整備や修繕を行った。また、新県立体育館の令和10年秋の開館に向け、総合評価落札方式による一般競争入札を実施し、落札者を決定した。

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
e	成果指標の達成率を基にした定量的評価は2.00で「e相当」であることから、総合評価は「e」とする。
	【定性的評価として考慮した点】

4 県民意識調査の結果

質問文	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。					
満足度	調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見	21.4%	17.9%	16.2%		△1.7
	十分 (5点)	3.5%	2.1%	2.3%		+0.2
	おおむね十分 (4点)	17.9%	15.8%	13.9%		△1.9
	ふつう (3点)	45.5%	38.1%	38.3%		+0.2
	否定的意見	23.9%	35.9%	37.5%		+1.6
	やや不十分 (2点)	16.0%	22.2%	25.0%		+2.8
	不十分 (1点)	7.9%	13.7%	12.5%		△1.2
	わからない・無回答	9.1%	8.1%	8.0%		△0.1
平均点		2.92	2.68	2.66		△0.02

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 働く世代や子育て世代の女性において、「仕事や家事が忙しいから」との理由により運動実施率が低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場や家庭で手軽に実践できる運動教室の開催や、参加型スポーツイベントの実施、運動プログラムの動画配信等の周知に努め、いつでも、どこでも、気軽に運動ができる環境整備に取り組んでいく。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営スタッフの高齢化やボランティアスタッフの確保が難しい等、スポーツイベントの実施に要する人材が不足している。 ○ スポーツ大会等の開催を契機とした交流人口の十分な拡大に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツイベントの実施に要する人材の育成を行うとともに、スポーツボランティアのマッチング制度を構築する。 ○ スポーツ大会及びスポーツイベントにおいて、大会主催者等と連携し、県外からの参加者・観戦者に向け、秋田の文化・食などの観光資源を効果的にPRするなど、交流・関係人口の拡大による地域活性化を図る。
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化の進行に伴い競技人口が減少し、アスリートの発掘・育成・強化に影響している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全県から優秀・有望な選手を選抜し、充実した練習環境を提供する「チームAKITA強化・育成システム」の効果的な実施のため、指定競技団体へ指導者養成担当者を配置し、指導者の資質向上を図る。 また、小中学生を対象とした「スポーツ能力測定会・スポーツ体験会」の開催を通じ、スポーツを始めるきっかけづくりや、スポーツ少年団・運動部活動等の選択に役立ててもらい、スポーツのすそ野拡大を図る。
④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動地域移行の受け皿の一つと考えられる総合型地域スポーツクラブにおいて、中学生に指導できる体制が整っているクラブは少なく競技種目も限定的となっている。 ○ 体育施設、設備の老朽化により、突発的な対応を求められる修繕等が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「部活動の地域展開」に向け、市町村やスポーツ関係団体等が連携して地域のスポーツ環境を整備できるよう、総合型地域スポーツクラブの運営強化に向けた支援の充実を図る。 ○ 安全安心な施設利用を確保しながら、施設運営や大会開催に支障がないよう計画的に修繕等を実施する。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「e」をもって妥当とする。